

7 福祉教育

教育目標

夢に向かって ふみ出す一步 ～やさしく かしこく たくましく～

(1) 福祉教育の目標

- ①様々な活動への参加や具体的な実践を通して地域の人々との交流を図りながら、相手を思いやり互いに尊重し合う豊かな心を育成する。
- ②地域福祉への理解と関心を深め、共によりよく生きようとする気持ちと態度を養う。

(2) 今年度の重点

低学年

- ・ 友達や地域の人達にあいさつをする。
- ・ だれに対しても親切にする。
- ・ 自分がやるべき学習や仕事をしっかりと行う。
- ・ 生命を大切にする心をもつ。
- ・ 地域の人と関わり、地域の自然や文化にふれる。

中学年

- ・ 友達や地域の人達にあいさつをする。
- ・ 相手のことを思いやり、親切にする。
- ・ 自分で決めたことを粘り強くやり抜く。
- ・ 生命あるものを大切にする。
- ・ 奉仕活動を通して、地域の一員としての自覚をもつ。

高学年

- ・ 友達や地域の人達に進んであいさつをする。
- ・ 相手の立場に立って、思いやりの心で接する。
- ・ 自分で課題を見つけ、解決に向けて取り組む。
- ・ 生命の尊さを知り、自他の生命を尊重する。
- ・ 奉仕活動、ボランティア活動を通して、社会の一員としての自覚をもち、公共のために役立とうとする。

(3) 具体的施策

◇ 学級・学年経営 ◇

- ・ 児童の発達の段階に応じて「思いやりの心」の育成に努める。
- ・ 実践を通して、身近な社会の営みへの理解を深めると共に、福祉の心を行動に表す能力や態度を育てる。

◆ 各教科

- ・ よりよい社会をつくるための人々の工夫や生命の大切さを理解する。
- ・ ねらいに即して、目標の達成を目指しながら、相互に助け合い、協力しようとする態度を育てる。

◆ 総合

- ・ 体験的な活動を通して、自主的、実践的な態度を育成するとともに、福祉への理解と関心を高め、実践力を養う。

◆ 道徳

- ・ 道徳的心情や道徳的判断力を高め、道徳的実践意欲と態度の向上を図る。
- ・ 誰に対しても思いやりをもって接し、助け合ったり協力し合ったりする態度を育成する。

◆ 特別活動

- ・ 学校行事を通して地域との交流を図り、地域への理解と関心を深めるとともに、社会性を育む。
- ・ 児童会活動を通して、地域社会に貢献しようとする主体的な態度を培う。
- ・ 募金活動や奉仕活動への理解を深めるとともに関心を高め、協力を推奨する。

家庭や地域

- ・ 地域への積極的な働きかけと地域の教育資源の活用
- ・ PTA活動との連携